

別表第1(第9条関係)

チェックリスト

検査項目	チェックのポイント	欄
1 流入管きよ及び放流管きよの勾配	汚物や汚水の滞留等はないか。	
2 放流先の状況	放流口と放流水路の水位差が適切に保たれ、逆流の恐れはないか。	
3 誤接続等の有無	生活排水がすべて接続されているか。	
	雨水や工場排水等が流入していないか。	
4 ますの位置及び種類	起点、屈曲点、合流点及び一定間隔ごとに適切な升が設置されているか。	
5 流入管きよ、放流管きよ及び空気配管の変形、破損の恐れ	管の露出等により変形、破損の恐れはないか。	
6 土留めの施工状況	申請どおりの工法で土留めを施工しているか。	
	隙間なく矢板が施工されているか。	
	切梁がされているか。	
7 ベースコンクリートの打設状況	型枠が組まれているか。	
	かぶりは50mm以上とっているか。	
	配筋径はD10、ピッチは200mm以下で結束線によりすべて結束した状態であるか。	
	コンクリート打設時に水が染みていないか。	
	ベースコンクリートの厚みはとれているか。	
養生期間は気温が25℃以上で5日間、25℃以下で7日間とっているか。		
8 かさ上げの状況	バルブの操作などの維持管理を容易に行うことができるか。	
9 浄化槽本体の上部及びその周辺の状況	保守点検及び清掃を行い易い場所に設置されているか。	
	保守点検及び清掃の支障となるものが置かれていないか。	
	コンクリートスラブが打たれているか。	
	車両が通過する場所に設置する場合、耐圧仕様になっているか。	
	上スラブを打設する前に締固め後、自然転圧で3週間以上空けているか。	
10 漏水の有無	漏水が生じていないか。	
11 浄化槽本体の水平の状況	水平が保たれているか。	
12 接触材等の変形、破損、固定の状況	嫌気ろ床槽のろ材及び接触ばっ気槽の接触材に変形や破損はないか。	
	しっかり固定されているか。	
13 ばっ気装置、逆洗装置及び汚泥移送装置の変形、破損、固定及び稼働の状況	各装置に変形や破損がないか。	
	しっかり固定されているか。	
	空気の出方や水流に片寄りはないか。	
14 消毒設備の変形、破損、固定の状況	消毒設備に変形や破損はないか。	
	しっかり固定されているか。	
	薬剤等は傾いていないか。	

1 5 ポンプ設備（流入ポンプ及び放流ポンプ）の設置、稼働状況	ポンプますに変形や破損はないか。	
	ポンプますに漏水の恐れはないか。	
	ポンプが2台以上設置されているか。	
	設計とおりの能力のポンプが設置されているか。	
	ポンプの固定が十分行われているか。	
	ポンプの取り外しが可能か。	
	ポンプの位置や配管がレベルスイッチの稼働を妨げる恐れはないか。	
1 6 ブロワーの設置、稼働状況	防震対策がなされているか。	
	固定が十分行われているか。	
	アースはなされているか。	
	漏電の恐れはないか。	
1 7 宅地内処理設備の設置場所の状況	日照、通風が良好な場所に設置されているか。	
	処理装置に雨水等の流入の恐れはないか。	
	地下水位が地盤面下（処理装置）から1.5m以上の場所であるか。	
	湿潤でない場所に設置されているか。	
1 8 宅地内処理設備と他の施設との距離	隣地境界まで1m以上離れているか。	
	建築物まで1m以上離れているか。	
	井戸その他の水源まで水平距離で30m以上離れているか。	
1 9 宅地内処理設備の設置状況	放流水が均等に散水できているか。	
	重力浸透を防止するシート、受け皿が設けられているか。	
	処理装置の流入部及び末端部に、水位を点検できる升が設けられているか。	
	浄化槽の放流水の水量を処理できる能力を有するか。	
	保守点検及び清掃が容易にできているか。	
	その他設備設置の方法に従った設置がなされているか。	
<p>上記のとおり確認したことを証します。</p> <p>年 月 日</p> <p>担当浄化槽設備士氏名 ㊟</p> <p>（浄化槽設備士免許状の交付番号 ）</p>		